



県評しずおか

静岡県労働組合評議会

〒422-8062
静岡市駿河区稲川2-2-1
セキスイハイムビルディング7階
TEL 054-287-1293 FAX 054-286-7973
Eメール kenpyo@mail.wbs.ne.jp



要求、日程、戦術を統一し、力を集中して闘おう

2020年 春闘討論集会

20 春闘に向け春闘討論集会を
11月30日・12月1日に静岡市葵
区のもくせい会館で開催し、13
単産・4地域が参加しました。

菊池仁県評議長から「先日
来日したローマ教皇は
『核兵器は国家や世界の安
全保障への脅威から私たち
を守ってくれるものではない
』など核に対する発言を
しているのに対し、安倍首
相の発言はひどい」と批判
し「今春闘では、長時間労
働をなくし、すべての労働
者の賃上げを掲げ闘ってい
けるよう討議を深めてほし
い」とあいさつがありました。
講演を、全労連の岩橋祐
治副議長が「2020年全
労連春闘方針」について講



企業の枠を超えて闘うことが大事だと話す岩橋さん
＝30日、静岡市葵区もくせい会館

17,901筆
静岡県議会へ「ゆきとどいた教育を求める請願署名」17,901筆を鈴木利幸静岡県議会議長に提出し、12月3日には副知事と教育長と懇談をしました。

県民の思いを県議会に教育全国署名

子どもと教育を考える静岡県民会議（教育県民会議）は、11月29日に県議会へ署名を提出し、12月3日には副知事と教育長と懇談をしました。

12月3日、吉林章仁副知事に請願項目の実現のための要請懇談をしました。参加者から「多人数学級の小学校では、子どもたちの行動をタイマーで管理をしている。家に帰ってタイ

マーの音を聞いて怖がっている子もいる」。「特別支援学級で、学年が違ふ生徒を定数いっぱい受け持っている先生は、一人ひとりに対応しなければならず、大変な思いをしている。他県では同様な場合に複数配置をしている」「過大過密特別支援学校では、避難訓練をしようとしたが廊下が狭く渋滞となり、訓練にならなかった」。「修学支援については、

個々の事情も汲んでください。定時制だが就労はしていない生徒もいます。親や弟妹の世話を担っている子です。就労していないので援助が受けられない」等、先生を増やし、施設を改善し、修学支援を手厚く等の

高額の備品は学校備品に。避難所にもなる体育館に洋式トイレを、などを要請しました。教育長や事務局からは、就学援助の入学前準備金については9月に市町に情報伝達をした。予算はないが、一気だけでなく少しずつでもサポート体制ができるようにしたいなどの話がありました。

子どもと教育を考える静岡県民会議（教育県民会議）は、11月29日に県議会へ署名を提出し、12月3日には副知事と教育長と懇談をしました。

春闘を闘っていく上で、企業の枠を乗り越えて『要求、日程、戦術』を統一し、力を集中して闘い、非正規労働者・ワーキングプアをなくし労働者全体の賃金の底上げと格差是正を実現していくこと』を大切にする春闘とすることを基本的な視点にしよう」と訴えられました。

2つの分科会が開催され、「要求作り」「地域活性化運動」について話し合

- 公表された病院
- ▼JA静岡厚生連リハビリテーション中伊豆温泉病院
 - ▼伊豆赤十字病院
 - ▼公立蒲原総合病院
 - ▼独立行政法人国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター
 - ▼JA静岡厚生連 清水厚生病院
 - ▼JA静岡厚生連 静岡厚生病院
 - ▼独立行政法人地域医療機能推進機構 桜ヶ丘病院
 - ▼菊川市立総合病院
 - ▼市立御前崎総合病院
 - ▼公立森町病院
 - ▼浜松赤十字病院
 - ▼市立湖西病院
 - ▼JA静岡厚生連遠州病院
 - ▼独立行政法人労働者健康福祉機構浜松労災病院

いました。公務の職場からは、非正規化を加速し、固定化する危険性も持つ20年度から導入される会計年度任用職員制度の課題や人手不足が深刻で増員要求が出ていること、教員に導入されようとしている1年単位の変形労働時間制はさらなる長時間労働を生みだし8時間労働制が壊されるものであることなどが出されました。

最後に、菊池議長の「日本の夜明けは静岡から」と力強い団結カンパニーで閉会しました。

10回目の大晦日を迎えさせない JAL争議の解決をめざし



JAL争議を支援する会は12月1日静岡駅の地下道で、原告の2名と国労を中心に「一日も早い解雇争議の解決を求める」宣伝を行い県評からも参加しました。パイロットだった榎原さ

ん（写真）は「JALは2010年の大みそかにパイロット・客室乗務員165名を年齢と病歴を理由に解雇した。争議団は『10回目の大晦日を迎えさせない』をスローガンに闘っている。今年末までに解決させるために、オリンピック・パラリンピック組織委員会宛にJALにオフィシャルパートナーとしてふさわしい対応するように働きかけていただくように」と『要請はがき』を取り組んでいる」と、街ゆく人呼びかけました。

客室乗務員だった久保田さんは「JALの赤坂社長は『何とかして解決したい』と考えている」植木会長は『ご意見を尊重して、解雇争議の解決に向け、組合とも誠心誠意話し合う』と答弁しているが、9年近く経っても解決していません」と話し、解決のための支援を訴えました。



「コマ漫画」
安倍改憲をシュレッダーに
高額の備品は学校備品に。避難所にもなる体育館に洋式トイレを、などを要請しました。



「浜岡原発の再稼働を許さない」「増やそう再生可能エネルギー」とコールしながら静岡市繁華街をパレード＝17日

子どもたちのためにも 原発のない社会を 浜岡原発の再稼働を許さない「ひまわり集会」

秋晴れの11月17日、静岡市葵区の駿府城公園で、浜岡原発の再稼働に反対する、の一点で「浜岡原発の再稼働を許さないひまわり集会」(実行委員会主催)が開かれ1000人が参加しました。

林克実行委員長は「関西電力の高浜原発を巡って大きなお金が動いた。原発は放射能で環境を汚染するだけでなくお金で地域を汚染する」また「経団連の会長が浜岡原発を早く再稼働させたいと発言しているが、川勝知事は再稼働できる状況でないと発言し、これは私たちの署名活動の到達点だ」「未来の子どもたちへ安全な土地を残していこう」と訴えました。

ゲストの「おしどりマコ&ケン」のお二人(写真)が、福島第一原発事故後、現地に頻りに足を運び得た情報や、ドイツでは環境大臣が隣国の原発を、事故が起きれば国境に関係なく汚染されるからと、停止するよう申し入れをしている。また、家庭でも原発・核戦争・政治のことを話し合っ



ている。など、ドイツでの脱原発の運動など軽妙な掛け合いで紹介し、会場を沸かせました。

経産省前から撤去された「脱原発デント」を全国へ貸し出す活動をされている反原発美術館館長の早川由美子さんは「『あいちトリエンナーレ2019』の

他人事にしてはならない沖繩

日本平和大会in沖繩

2019年日本平和大会in沖繩は11月8日〜9日に開催されました。

1日目は、米軍基地外住居、嘉手納基地、辺野古(大浦湾側)を回り、辺野古ゲート前で座り込みを行いました。その後、豊見城市立中央公民館で開会集いが開催されました。

現地を見て学習し、住民と交流することで、「他人事にしてはいけない」と強く思うようになりました。との感想も寄せられました。

2日目は、9つのシンポジウムと分科会が開催され、「米軍・自衛隊の基地の強化はゆるさない」の分科会で、講師の小泉親司さん(安保破棄中央実行委員

企画展にみられるように表現の自由が悪化している、芸術への介入を許したら、原発・憲法などの集会などで会場を貸さないなど起こるかもしれない。表現の自由を守っていかねばならない」とあいさつをしました。

政党からは、国民民主党の日吉雄太衆議院議員、日本共産党の井上さとし参議院議員から、ごあいさつをいただきました。立憲民主党から、メッセージが寄せられました。

また、県内で運動を進めている人たちが一分間リレースピーチを行いました。

参加者は集会後、静岡市内の繁華街を「浜岡原発の再稼働を許さない」「守ろう環境!増やそう再生可能エネルギー」とコールしながらパレードしました。



日本平和大会開会集会11月9日、豊見城市立中央公民館会常任幹事)は、日本における米軍基地展開について

職場の安全衛生を実現するために 静岡県安全健康センター No. 66

建交労の地道な運動で成果「アスベスト規制強化」

建交労は20年以上前から、じん肺キャラバンを全国的に展開してきました。炭塵、金属塵などによるじん肺の根絶や、じん肺症になった労働者への補償等を求めて、厚生労働省、自治体に要請行動を繰り返してきたのです。



私たち安全健康センターも一緒に行動に参加してきましたが、近年アスベストの飛散による被害を防ぐために建物の取り壊しや改修の際にアスベスト対策をとることを重点的に訴え

てきました。今年も静岡県では10月3日に要請を行いました。

針を固めたことが報道されました。地道な運動の成果として素晴らしいものです。

高度成長期に建築された多くの建物は、外壁・屋根・壁・天井・断熱材・絶縁材料などとして多量のアスベストが使われていました。その建物が老朽化し、解体のピークが2030年頃と言われてきたのです。また地震や大規模水害で建物を取り壊すなども増えてきました。その時に大量のアスベスト被ばくが起り、その結果がさらに20年か30年後に、肺がんや中皮腫、アスベスト肺などとして現れる危険があるのです。

これまでビルや工場の取り壊し時に届け出を義務付けてきましたが、今回届け出の対象を解体なら80平方メートル以上(25坪程度)、改修なら請負金額100万円以上の工事に広げました。ほとんどの家屋が対象になります。そして現地で労働基準員が調査して対策を決めるそうです。取り壊しする人、リフォームする人には多少負担が増えるかもしれませんが、将来のアスベスト被害を起させないために、国民として協力していくのは仕方ないのではないのでしょうか。

帰れない・休めない 保育職場

静岡県労働研究所 No. 56

11月27日 労働研究所の定例研究会が開催され、保育園、こども園の働き方の実態について静岡自治労連の青池則男氏と稲葉恵子氏が報告しました。

4月から実施された「働き方改革」によって職員の勤務条件は改善されているのか、「幼児教育・保育の無償化」へむけて十分な職員体制は

「全国知事会では、日米地位協定について抜本的な見直しを日米両政府に提言す

るなど砂上の楼閣を壊している」と話されました。

整備されているかを調査するため、アンケート調査を実施しました。

雇用形態別では、正規職員42・6%、臨時・非常勤・嘱託・パート・再任用職員を合わせると56・8%となり、保育園・こども園の非正規化が進んでいることがわかります。

正規職員の業務量については、「非常に多い」、「多い」を合わせると80・9%にも及びます。

正規職員の時間外手当の支給については、「付いていない」、「二部付いている」を合わせると95・6%にも及びます。臨時・非常勤・パート・再任用職員の時間外手当の支給については、「付いていない」、「二部付いている」を合わせると77・1%にも及び、正規職員同様に不払い残業の実

態があります。

仕事を家に持ち帰りましたかの問いに、「した」は、正規職員が88・9%、臨時・非常勤・パート・再任用が34・4%となりました。

職場で改善したいと思う点については、正規職員は人員不足、臨時・非常勤・パート・再任用職員は、賃金・労働条件がトップでした。

これらの問題を解決するためには、すべての子どもに等しく質の高い保育が保障されるよう、保育関係予算の大幅増額と、施策の拡充を国へ求めていくこと。及び自治体の単独補助を活用することが必要です。また労働組合による職場での運動が重要です。